

浜松医科大学ホスピタル・ラボ 5 階北側共用部等改修工事

図面リスト		
図番	図面名称	縮尺
L-01	表紙・図面リスト	—
特A-01	改修特記仕様書(1)	—
特A-02	改修特記仕様書(2)	—
A-01	案内図・配置図	A1:1/2000 A3:1/4000
A-02	仕上表・4階平面図(改修前・改修後)	A1:1/150 A3:1/300
A-03	5階平面図(改修前・改修後)・天井伏図(改修前・改修後)	A1:1/150 A3:1/300
A-04	5階平面詳細図(改修前・改修後)	A1:1/50 A3:1/100
A-05	部分詳細図・建具表・サイン詳細図	図示

工 事 名	浜松医科大学ホスピタル・ラボ 5 階北側共用部等改修工事						図面番号	L-01					
図面名称	表紙・図面リスト			縮	尺	—		図面作成	令和7年12月				
浜松医科大学施設課				課 長			課 長 補 佐			係 長		担 当	

浜松医科大学ホスピタル・ラボ5階北側共用部等改修工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所 静岡県浜松市中央区半田山1丁目2〇番地1号(浜松医科大学構内)

2. 完成期限 令和8年3月27日(金曜日)

3. 建物概要

建 物 名 称	ホスピタル・ラボ		
工 種	模様替		
構 造	鉄骨造		
階 数	地上5階		
建築基準法による	建築面積(m ²)	549.41	
	延べ面積(m ²)	2,510.53	
消防法施行令別表第一の区分	(7項)		
改 修 面 積 (m ²)	66.19		
備 考			

4. 工事種目

印の付いたものが対象工事種目

建物別及び屋外	工 事 種 別	
工 事 種 目	ホスピタル・ラボ	
・ 2 仮設工事		
○ 3 防水改修工事	一式	
・ 4 外壁改修工事		
○ 5 建具改修工事	一式	
○ 6 内装改修工事	一式	
○ 7 塗装改修工事	一式	
・ 8 耐震改修工事		
・ 9 環境配慮改修工事		
・ プール改修工事		
・ 電気設備工事		
・ 機械設備工事		
・		

5. 指定部分

○無 ・ 有 対象部分 ()
指定部分工期 令和 年 月 日 (曜日)

6. 概成工期

○無 ・ 有 令和 年 月 日 (曜日) (1.2.1) [1.2.1]

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) 文部科学省発注工事請負等契約規則(文部科学省訓令第二十二号)別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 6 枚及び本特記仕様書 2 枚によるほか、下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)

○ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

・ 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科仕様書」という。)

・ 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科改修仕様書」という。)

○ 工事写真撮影要領(令和5年9月)

・ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)

○ 建築工事標準詳細図(令和4年版)

・

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は ()、
機械設備工事の特記仕様書は () による。

2. 特記仕様

(1) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、○ 印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。

○ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の () 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の [] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の (()) 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の [[]] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) ⊕ 印は、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和7年1月28日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準)を満たすものを示す。

章

項 目

特 記 事 項

1 各章共通事項

・ 適用区分

・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

・ 風圧力
風速 (V₀= 32 m/s)
地表面粗度区分 (・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ)
・ 積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 (24)

・ 電気保安技術者、
工事用電力設備の
保安責任者

(1.3.3~4) [1.3.3~4]

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安技術者
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	・
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・
4 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・
6 第1種電気工事士の資格を有する者	・
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	・
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	・

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

○ 施工条件

この工事現場では、次の施工条件による。(1.3.5) [1.3.5]

試験日は建物内外で行う工事ができないものとする。
試験日：令和8年1月17日(土)～18日(日)
令和8年1月31日(土)～2月1日(日)
令和8年2月7日(土)、令和8年2月25日(水)～2月26日(木)
令和8年3月12日(木)
その他試験や学内行事と重なる日の施工の可否は、監督職員との協議による。
搬入時のエレベーターの使用は監督職員と協議し決定すること

・ 発生材の処理等

(1) 引渡しを要するもの(1.3.11) [1.3.12]

1) 品名 ー
引渡し先 ー
集積場所 ー

(2) 特別管理産業廃棄物
1) 品名 ー
処理方法 ー

(3) 現場において再利用を図るもの
1) 品名 ー
使用箇所 ー

(4) 再資源化を図るもの
1) 品名 ・建設発生土
受入場所 ー
2) 品名 ー

(5) その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。

○ 環境への配慮

(1.4.1) [1.4.1]

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジオブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が追加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

○ 材料の品質等

(1.4.2) [1.4.2]

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。

3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し等)を監督職員に提出して承認を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。

① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③ 安定的な供給が可能であること。

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料

○ 石綿含有建材の調査

[1.5.1]

調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
賃与資料(浜松医科大学ホスピタル・ラボ新営その他工事)

○ 技能士

(1.5.2) [1.7.2]

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	・ とび
鉄筋工事	・ 鉄筋施工
コンクリート工事	・ 左官 ・ 型枠施工 ・ コンクリート圧送施工
鉄骨工事	・ とび ・ 鉄工
ブロック・ALCパネル工事	・ ブロック建築 ・ ALCパネル施工 ・ カンテンウォール施工
PCカーテンウォール工事	
防水工事	○ 防水施工
石工事	・ 石材施工
タイル工事	・ タイル張り
木工事	・ 建築大工
屋根、とい工事	・ 建築板金 ・ スレート施工
金属工事	○ 内装仕上げ施工(鋼製下地)
左官工事	○ 左官
建具工事	・ サッシ施工 ・ ガラス施工
塗装工事	○ 塗装
内装工事	○ 内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等) ・ 表装
植栽工事	・ 造園

(1.5.5) [1.7.5]

標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す施工については、監督職員の検査を受ける。

検査等を行う施工	備考

(1.5.7) [1.7.7]

標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。

施工の立会いを行う工程	備考
経路鉄骨天井下地及び経路鉄骨壁下地	仕上を施工する前の段階
仕上ベリッ	完了後
塗膜防水工	完了後

(1.7.1~3) [1.9.1~3]

次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事事目的物に關し使用するための権利については、発注者に委譲する。

1) 完成図

○ CADデータ(電子納品)及び電子データ(PDF形式)

・ A3版原図 1 部

・ A1版原図 部

・ A3複写図(製本) 部

・ A1複写図(製本) 部

2) 保全に関する資料

○ 電子データ(PDF形式)

○ A4ファイル綴じ 1 部

3) 工事写真(「工事写真撮影要領」による。)

○ 原本(電子媒体)

・ アルバム(紙又は電子媒体) 部

4) 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面(ー)箇所	・ 電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	・ カラー印刷紙キャビネ判			
	・ カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム綴じ(注)			
上記と異なる外部：ー 箇所 内部：ー 箇所	・ 電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)			
	・ カラー印刷紙キャビネ判			
	・ カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム綴じ(注)			
外部：ー 箇所 内部：3 箇所 程度	○ 電子データ(JPEGフルカラー)	1	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	・ カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム綴じ			

(注)のアルバムは併せて作成する。

電子納品は次の規定に従うものとする。

1) 賃与する設計図のCADデータは以下による。

著作者名： 浜松医科大学施設課

ファイル形式：JWWJ及びUPDF

賃与条件：賃与するCADデータを本工事中における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。

2) 完成写真の撮影に関する著作権者の権利等については次のi)及びii)によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。

i) 提出された写真は、国が行う事務及び国が認めた用途に關して、無償で利用することができるものとする。この際、著作権者名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。

ii) 受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真(提出していないものを含む。)及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。

3) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。

4) 電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。

5) 提出方法及びファイル形式は以下による。

電子媒体：CD-R又はDVD-R

CADデータ：JWWJ、DXF及びUPDF

上記の他、監督職員が認めた形式

○ 他工事又は他工種との取合い

3 防水改修工事

○ 差膜防水

(9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)

防水層の種別		仕上塗料		保護層	高日射反射率防水
種別	施工箇所	種類	使用量		
・ X-1		・ 主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様		・ 適用する
○ X-2		・ 主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様		・ 適用する
・ Y-1	※地下外壁防水				
・ Y-2	※屋内防水			・ 設ける ・ 保護モルタル ・ 保護コンクリート ・ 設けない	

ウレタンゴム系差膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量種類
※主材料の製造所の仕様
・
設置数量
※主材料の製造所の仕様
・ () 個

(9.7.2) (表9.7.3) (表9.7.5) (表9.7.1)

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。
ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

仕上げを行わない施工箇所(・ 図示による ())
シーリング材の目地寸法
※標準仕様書9.7.3(1) (7)～(9)による
・ 図示による
・
接着性試験
※簡易接着性試験
・ 引張接着性試験

○ アルミニウム製建具

(16.2.2) (16.2.4) (16.2.5) (表14.2.1) (表16.2.1) (表16.2.2)

性能値等
耐風圧性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による ・)
気密性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による ・)
水密性の等級 (・)
(建具符号 ・ 建具表による ・)
外部に面する建具の種別
・ A種 (建具符号 ・ 建具表による ・)
・ B種 (建具符号 ・ 建具表による ・)
・ C種 (建具符号 ・ 建具表による ・)
・ D種 (建具符号 ・ 建具表による ・)
・ E種 (建具符号 ・ 建具表による ・)
枠の見込み寸法 (○ 建具表による ・)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 ()
(建具符号： ・ 建具表による ・)
断熱ドア・断熱サッシ ⊕
断熱性の等級 ()
(建具符号 ・ 建具表による ・)
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430J1L、又は SUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※ HL
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
・ BB-1 ・ BB-2 (標準仕様書表14.2.1)
着色
・ 標準色 ・ 特注色
屋内の建具
種別
・ BC-1 ○ BC-2 (標準仕様書表14.2.1)
着色
○ 標準色 ・ 特注色
結露水の処理方法
・ 水貯め式 ・ 排水式
工法
水切り板、ぜん板
※ 図示による
木下地の場合の内付け建具
・ 適用しない ・ 適用する

工事名称

浜松医科大学ホスピタル・ラボ5階北側共用部等改修工事

縮尺

A 1 : -
A 3 : -

図面番号

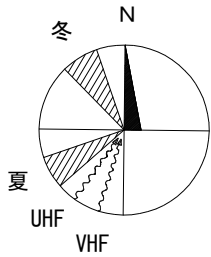
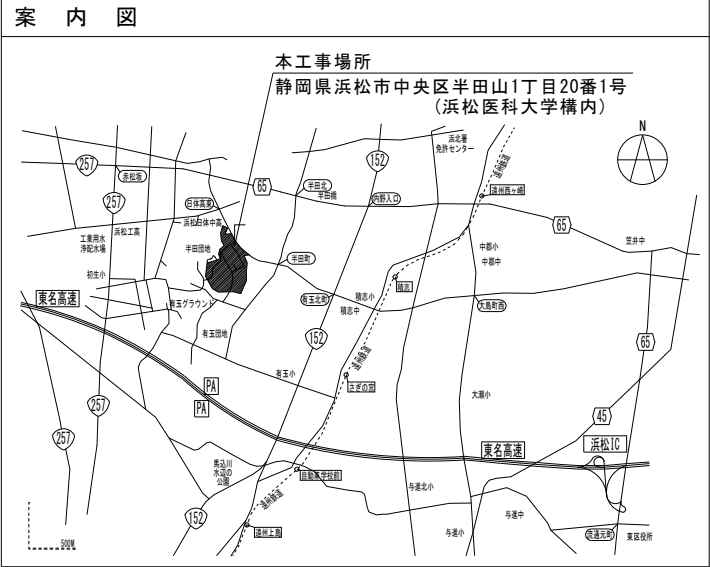
特A-01

図面名称

改修特記仕様書(1)

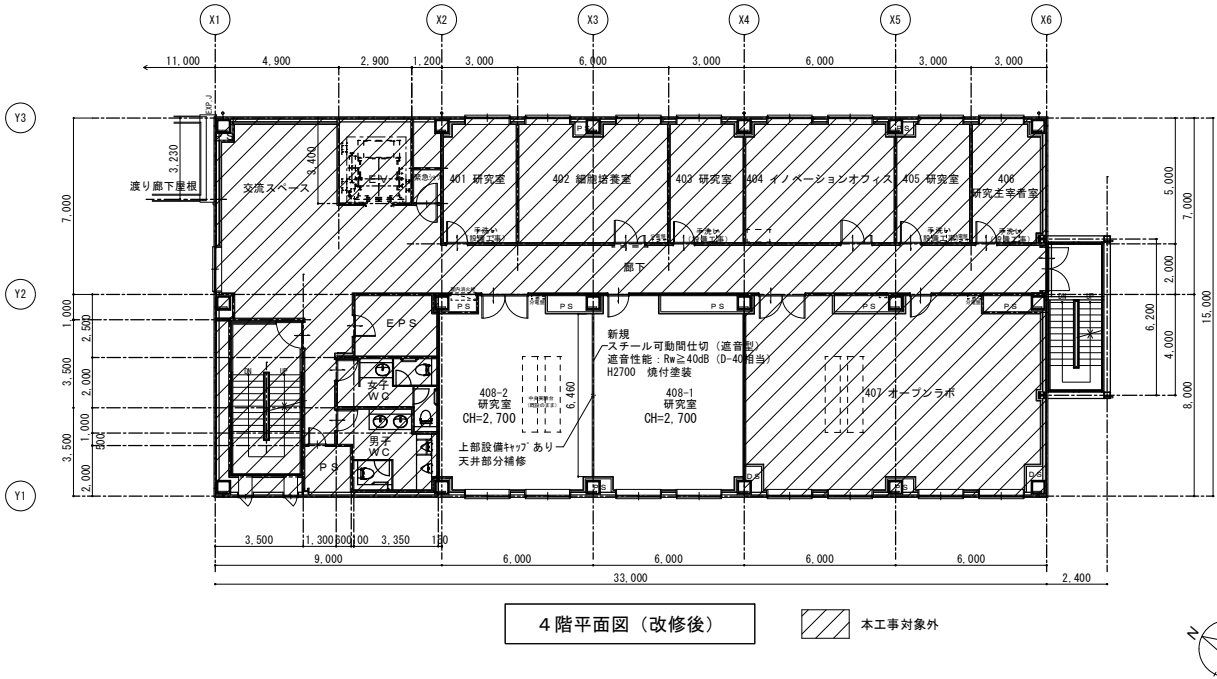
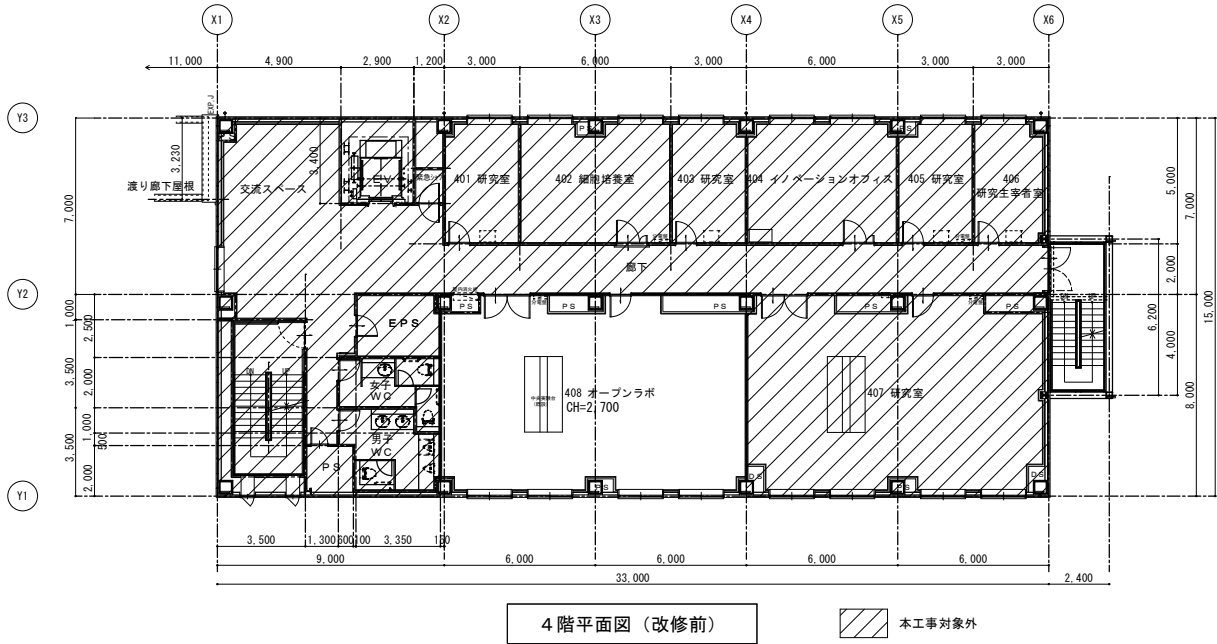
令和 7 年度

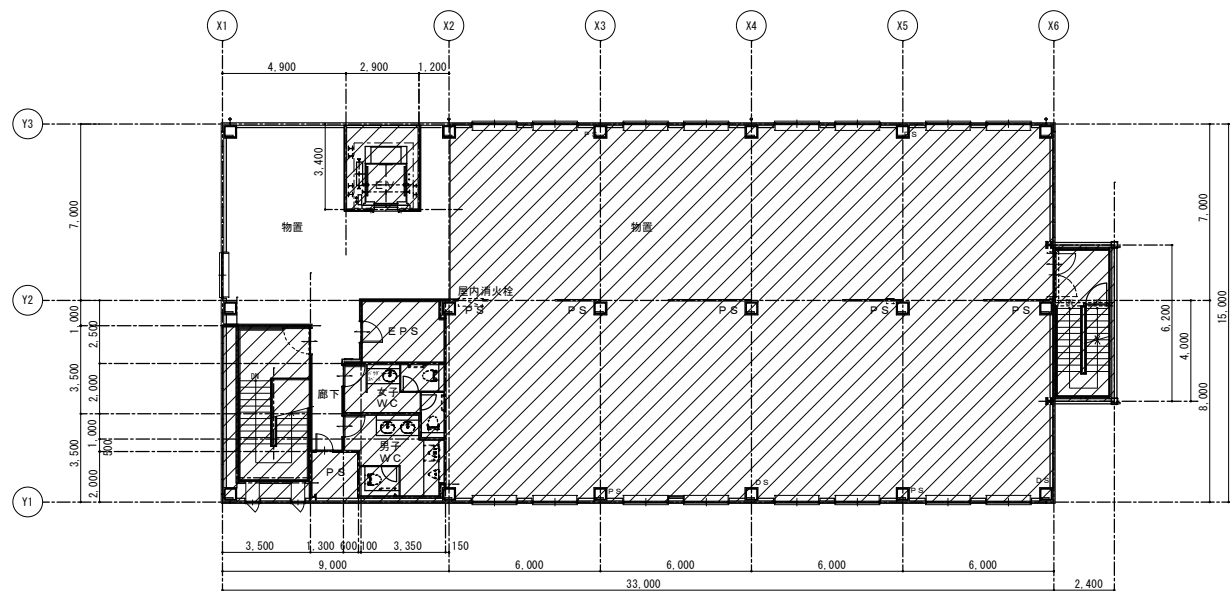
○ 建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.5による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ○建具表による ・ シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠（品質・性能、試験方法は別表による） クローザ類（品質・性能、試験方法は別表による）	(13.8.2) (16.8.3) (表16.8.1)～(表16.8.5) [5.8.1～3]	○ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びびンサートの間隔 ・図示による 周辺部の端からの間隔 ・図示による 野縁の間隔 ・図示による 既存の埋込みインサート ○使用する ・使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・（ ）箇所 引張試験にて確認する強度 ※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度 ・（ ）N ・行わない ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 （補強方法 ※図示による ・ ） ・天井のふとところが3.0mを超える場合 （補強方法 ※図示による ・ ） ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 （補強箇所 ※図示による ・ ） （補強方法 ※図示による ・ ） ・屋外の天井における耐風圧性を考慮した補強 （補強箇所 ※図示による ・ ） （補強方法 ※図示による ・ ） 耐震性能 ・軽量鉄骨天井下地(特定天井) 範囲 ・図示による ・ 特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。 特定天井告示（平成25年国土交通省告示771号）による 特定天井の設計用震度 検証ルート（ ）	[6.6.2～4]	○ セルフレベリング材 塗り	天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示による 合板類の張付け ・A種 ・B種 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※改修仕上表による 突付け工法及び目隠し工法のエッジの種類 ○ペベルエッジ ・スクエアエッジ	[6.17.2、3]	○ 塗装	(18.4.1)～(18.12.2)	合板類 ・普通合板 図 表板の樹種名： 板面品質： 防虫処理 ・行う ・行わない ・天然木化粧合板 図 化粧板の樹種名： 防虫処理 ・行う ・行わない ・特殊加工化粧合板 図 化粧加工の方法 ・オーバレイ ・ブワット ・塗装 ・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない	天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示による 合板類の張付け ・A種 ・B種 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※改修仕上表による 突付け工法及び目隠し工法のエッジの種類 ○ペベルエッジ ・スクエアエッジ	○つや有合成樹脂エマル ションペイント塗り (EP-G)	コンクリート面 押出成形セメント板面 モルタル面 アスファルト面 せっこうボード面 その他ボード面等 屋内の鉄鋼面	※B種 ・A種	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
---------	---	--	------------	---	-----------	-------------------	---	------------	------	--------------------	--	---	------------------------------------	---	--------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



内部仕上表（改修前）													内部仕上表（改修後）															
階	室名	FL (SL)	床		幅木		壁		天井				備考	階	室名	FL (SL)	床		幅木		壁		天井				備考	
			下地	仕上	仕上	幅木高	下地	仕上	下地	仕上	廻り縁	天井高					下地	仕上	仕上	幅木高	下地	仕上	廻り縁	天井高				
4	408 オープンラボ	±0 (-10)	C	VS1	VB	93(9'レ)	H=60	LGS	GB-Rt12.5+EP-G GB-Ft12.5+12.5+EP-G GB-Ft21+21+EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ	2,700		4	408-1, 408-2 研究室	±0 (-10)	C	(既設のまま) VS1	(既設のまま) VB	H=60	(既設のまま) LGS	GB-Rt12.5+EP-G GB-Ft12.5+12.5+EP-G GB-Ft21+21+EP-G	(既設のまま) LGS	GB-Dt9.5	塩ビ	2,700	新設：可動間仕切（図示）
5	廊下	-10 (-10)	C	コンクリート金ｺﾏ	-	-	-	LGS	GB-Rt12.5 (素地) GB-Ft12.5+12.5 (素地) GB-Ft21+21 (素地)	-	-	-	直天	将来的な内装工事を想定し、天井 インサートあり	5	廊下	±0 (-10)	C	VS1 (塩ビフレ'リング' 共)	VB	H=60	(既設のまま) LGS	GB-Rt12.5+EP-G GB-Ft12.5+12.5+EP-G GB-Ft21+21+EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ	2,500	
	物置	-10 (-10)	C	コンクリート金ｺﾏ	-	-	-	LGS	GB-Ft12.5+12.5 (素地) GB-Ft21+21 (素地)	-	-	-	直天	将来的な内装工事を想定し、天井 インサートあり		交流スペース	±0 (-10)	C	VS1 (塩ビフレ'リング' 共)	VB	H=60	LGS	GB-Rt12.5+EP-G GB-Ft12.5+12.5+EP-G GB-Ft21+21+EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ	2,700	ビ'ｸﾀﾔｰﾚｰﾙ
																緊急ｼｬｰ	±0 (-10)	C	塗膜防水 (X-2)	床材立上げ	H=200	LGS	GB-St12.5+FK-Dt6 (目地ｼｰﾙ) GB-Ft12.5+12.5+GB-St12.5+FK-Dt6 GB-Ft21+21+GB-St12.5+FK-Dt6	LGS	GB-Rt12.5+FK (D)t6.0	塩ビ	2,500	
																P S	-10 (-10)	C	コンクリート金ｺﾏ	-	-	LGS	GB-Ft12.5+12.5 (素地) GB-Ft21+21 (素地)	-	-	-	直天	

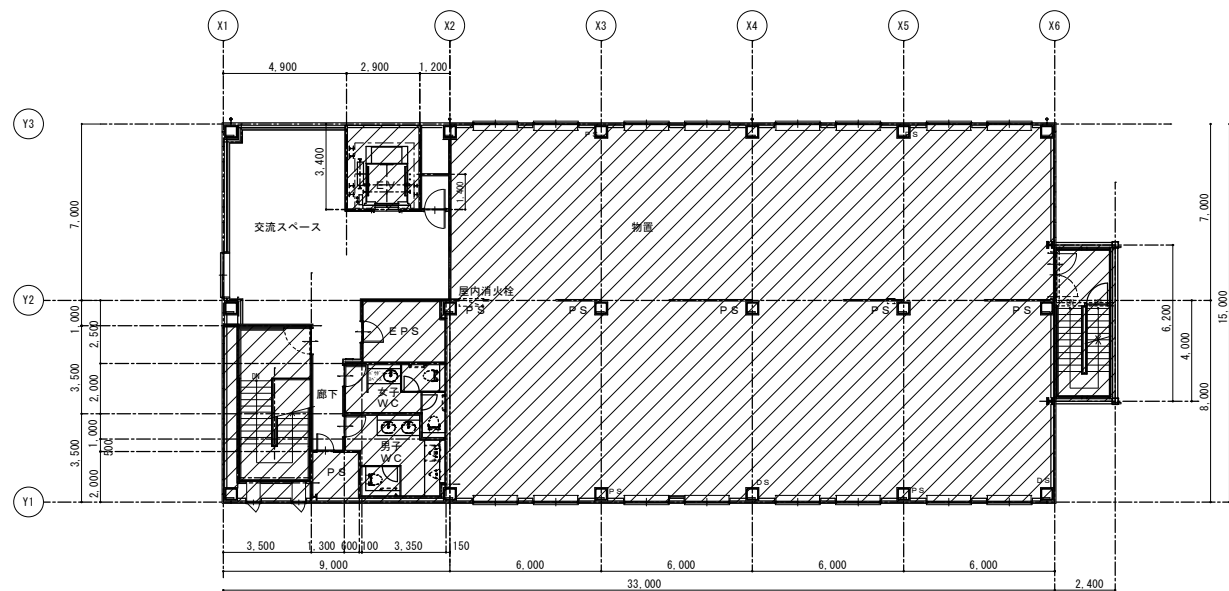
特 記 事 項										凡 例									
・内装材の使用は、特記なき限りF☆☆☆☆の製品を使用する。 ・壁面下地がRC、軽量鉄骨壁下地等剛性が異なるものが取合う場合には、仕上見切りとして6mm以上の目透かし目地を設ける。 ・塗装下地ボードは、テーパーエッジジョイント処理とする。 ・天井点検口は特記なき限りアルミ既製品（450×450）とし、表面仕上げ材は天井と同仕様とし、額縁ｼｬｰとする。 ・特記なき限り天井廻り縁は、塩ビ製とする。 ・特記なき限りLGSスタッドはW65を使用する。 ・コンクリート床下地の不陸調整、レベル調整はセルフレベルング材とする。					→コンクリート打継ぎ目地→誘発目地には変形シリコン系シールを行う。 ・天井裏等はF☆☆☆☆以上の材料を使用する。 ・使用する材料は、アスベストを含有しない物とする。 ・使用する内装材料は、難燃材以上とする。 →外壁躯体を貫通する管は全てツバ付きとし、内部よりシーリングを施す。 →スタイロフォームは3種bAとする。 ・LGS壁体内へのｸﾞﾗﾌﾞﾙ充填箇所は平面詳細図による。					基 材	GL	基準地盤面	壁・ 天 井	GB-R	せっこうボード	塗 装	-EP-	合成樹脂エマルジョンペイント(つや無)	
											SL	スラライン		-GB-R-H-	普通硬質せっこうボード		EP-G	合成樹脂エマルジョンペイント(つや有)	
											-MO-	モルタル		-GB-Se-	曲面用せっこうボード		SOP	合成樹脂調合ペイント	
											C	コンクリート		GB-F	強化せっこうボード		OSCL	オイルステインクリヤーラッカー	
											LGS	軽量鉄骨壁(天井)下地		GB-S	シージングせっこうボード		CL	クリアラッカー	
											SUS	ステンレス		GB-D	化粧せっこうボード		DP	耐水性塗料	
										PFP	ポリスチレンフォーム保温板	-DR-	ロックウール吸音板	FUC	フッ素樹脂クリア塗装				
										TCa	タイルカーペット	-DR(U)-	ロックウール化粧吸音板(凸凹)	X-2	ウレタンゴム系塗膜防水（密着工法）				
										-Ga-	カーペット	FK	けい酸カルシウム板 ※製造者・品番は、同等以上とする。						
										VS1	ビニル床シート	FK-D	化粧けい酸カルシウム板	VB	ビニル幅木				
										-VS2	ゼニル床シート(耐薬品)	-VO-	ゼニル壁紙	PR	ビクチャーレール				
										VS(防滑・消臭)	ビニル床シート(防滑・消臭)t2.0	-MR-	メラミン化粧板						
										防塵塗装	薄膜型アクリル樹脂系防塵塗料	-WT-	壁タイル						
主要材料表(参考品番)										壁・天井									
VS1:サンゲツ(PH-22305(ﾀｲﾄﾞﾞﾚｰ))					防塵塗装: ABC商会 薄膜型アクリル樹脂系防塵塗料 ｶｰﾄﾞｯｸﾞH					防水					その他				
防火材料一覧表																			
区分	材料の名称・規格				認定番号	区分	材料の名称・規格				認定番号	区分	材料の名称・規格				認定番号		





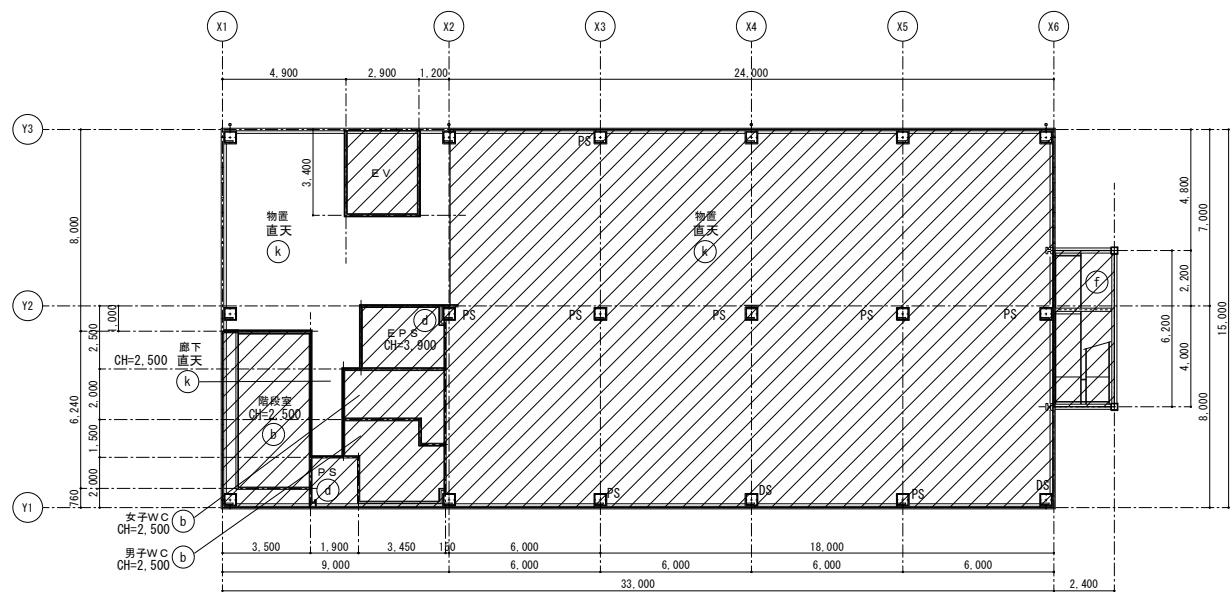
5階平面図 (改修前)

本工事対象外



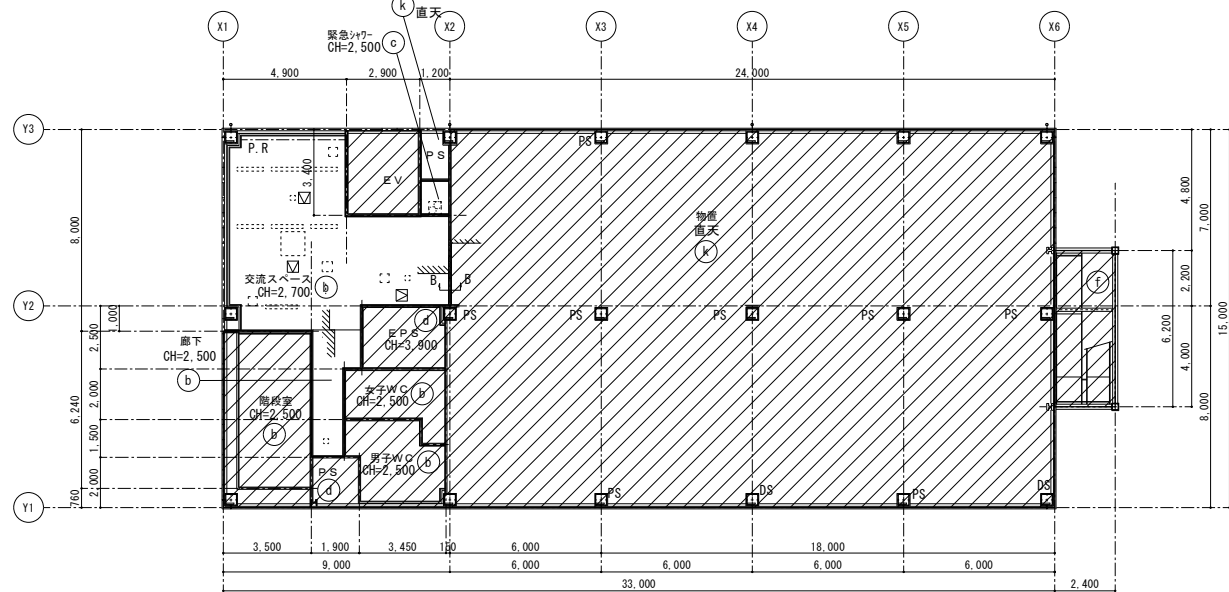
5階平面図 (改修後)

本工事対象外



5階天井伏図 (改修前)

本工事対象外



5階天井伏図 (改修後)

本工事対象外

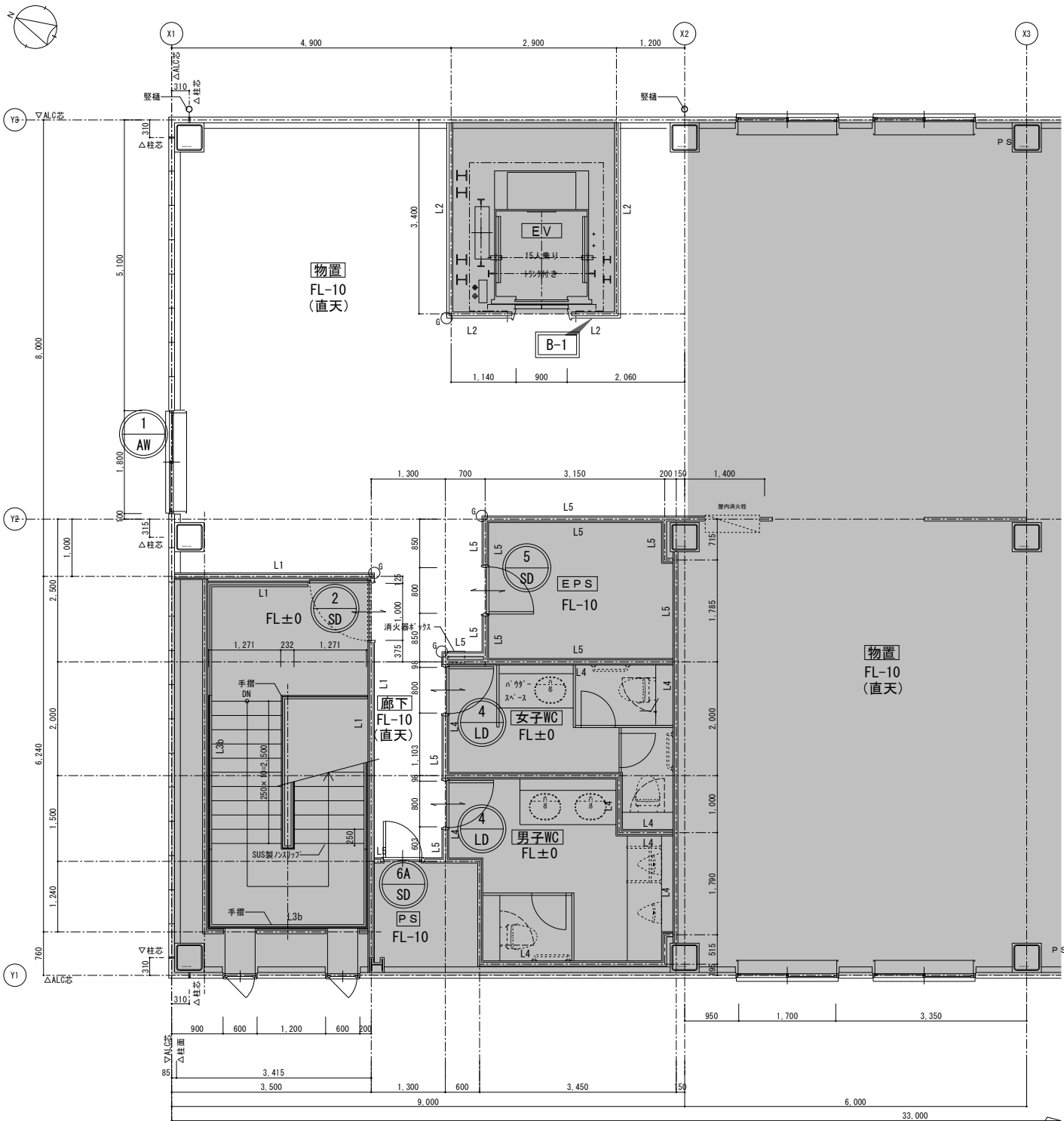


仕上凡例

<input checked="" type="checkbox"/> GB-Rt12.5+DRt12.0	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨表し (溶融亜鉛メッキ処理)
<input checked="" type="checkbox"/> GB-Dt9.5	<input checked="" type="checkbox"/> フォスファート
<input checked="" type="checkbox"/> GB-Rt12.5+FK(D)t6.0	<input checked="" type="checkbox"/> 曲げ合板t9+スリ 羽目板張りOSGL
<input checked="" type="checkbox"/> 直天	<input checked="" type="checkbox"/> 間接照明折上天井
<input checked="" type="checkbox"/> GB-Rt9.5	<input checked="" type="checkbox"/> グラスカーペット、鉄骨梁耐火被覆表し
<input checked="" type="checkbox"/> (天井裏GW(50敷き詰め))	<input checked="" type="checkbox"/> デッキ裏 断熱現場発泡硬質ウレタンフォーム (UF) 吹付

P.R	ビクチャール

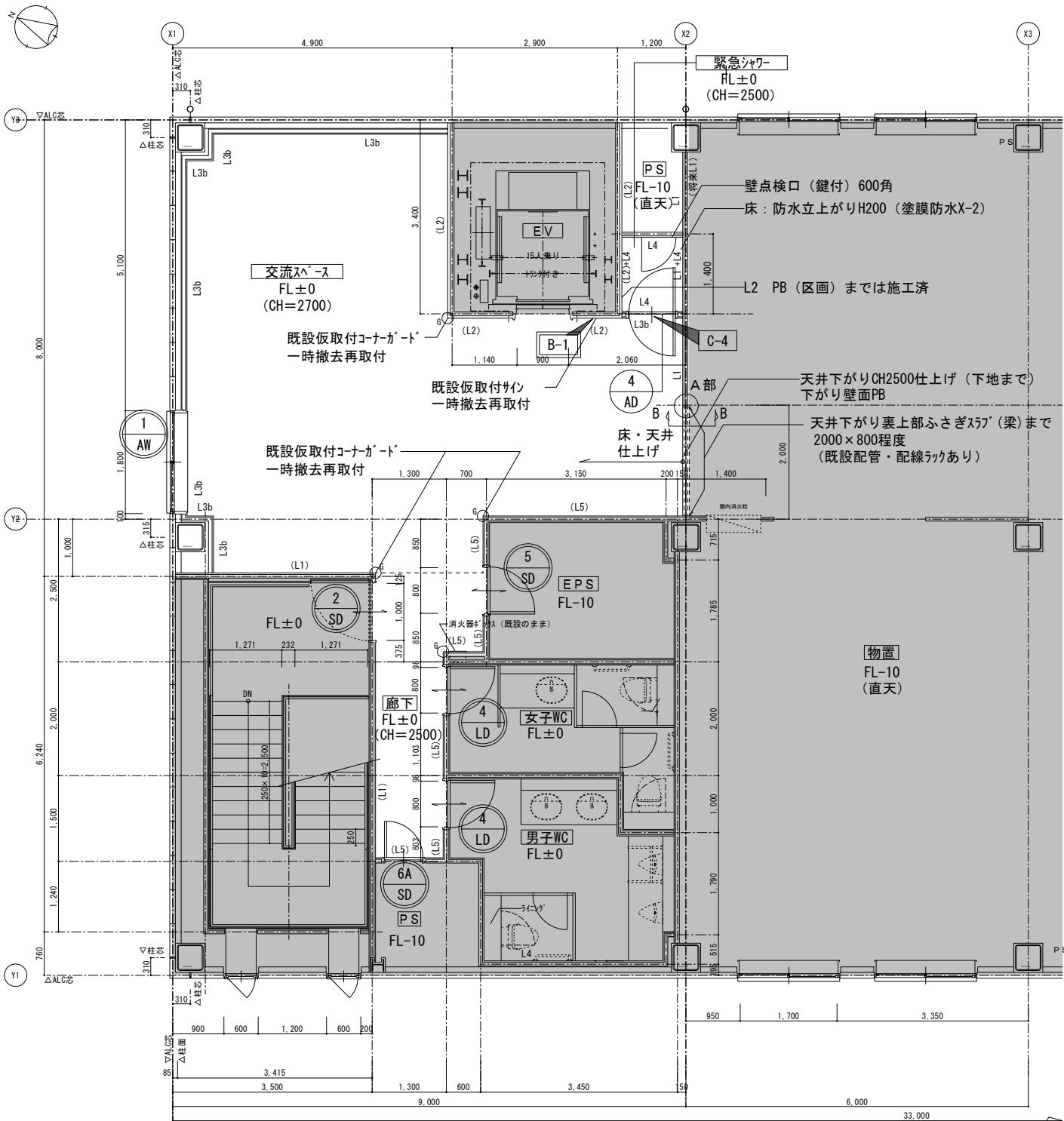
	数量
<input checked="" type="checkbox"/> 天井点検口: 450 (縦線タイプ)	3
天井開口補強: 200×200	3
天井開口補強: 300×300	3
天井開口補強: 350×350	1
天井開口補強: 400×400	1
天井開口補強: 1000×1000	1
天井開口補強: 1250×150	7



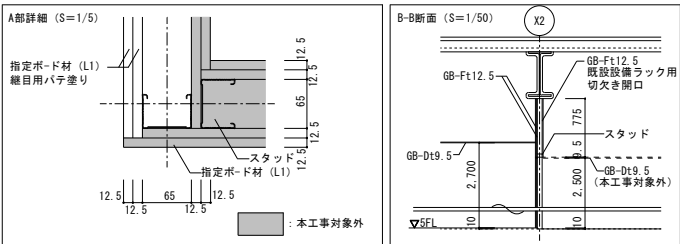
5階平面詳細図（改修前）
※特記無き限り、FL±0とする

壁凡例		建具凡例		サイン凡例	
L1	LGS+GB-Ft12.5+12.5(両面・耐火間仕切)	L4	LGS+GB-St12.5+FK(D)t6(目地ｼｰﾙ)(片面・一般間仕切)	XX	既設建具
L2	LGS+GB-Ft21+21(片面・耐火間仕切)	L5	LGS+GB-Rt12.5(素地)(片面・一般間仕切)	XX	既設のま
L3b	LGS+GB-Rt12.5(片面・一般間仕切)			B-1	既設仮取付サイン 一時撤去再取付 (階数表示)

斜線ハッチング表示 (32K t50) ○ 既設コーナーガードを示す



5階平面詳細図（改修後）
※特記無き限り、FL±0とする



壁凡例				建具凡例		サイン凡例	
L1	LGS+GB-Ft12.5+12.5(両面・耐火間仕切)	新規 (L1)	LGS+GB-Ft12.5+12.5(両面・耐火間仕切)	既設のまま	<div>XX XX</div>	既設建具	<div>B-1</div> 既設仮取付サイン 一時撤去再取付(階数表示)
L2	LGS+GB-Ft21+21(片面・耐火間仕切)	新規 (L2)	LGS+GB-Ft21+21(片面・耐火間仕切)	既設のまま	<div>XX XX</div>	既設のま	
L3b	LGS+GB-Rt12.5(片面・一般間仕切)	新規 (L5)	LGS+GB-Rt12.5(素地)(片面・一般間仕切)	既設のまま	<div>XX XX</div>	新規建具	<div>C-4</div> 新規サイン設置(室名表示) H30カッティングシート切文字
L4	LGS+GB-St12.5+FK(D)t6(目地ｼｰﾙ)(片面・一般間仕切)	新規					
L5	LGS+GB-Rt12.5(素地)(片面・一般間仕切)	新規					

斜線ハッチング表示 (32K t50) ○ 既設コーナーガードを示す

L1: 耐火構造壁 (1時間)	(A1) 1/5 (A3) 1/10	L2: 片面1時間耐火壁	(A1) 1/5 (A3) 1/10	L3b: 一般間仕切壁 (片面)	(A1) 1/5 (A3) 1/10	L4: 水廻り片面間仕切壁	(A1) 1/5 (A3) 1/10	L5: PS廻り片面間仕切壁	(A1) 1/5 (A3) 1/10	壁: 点検口	(A1) 1/5 (A3) 1/10
耐火認定番号: FP060NP-0174 		耐火認定番号: FP060NP-0007 									
ビニル床シート等 (A1) 1/5 (A3) 1/10		ビニル巾木 (A1) 1/5 (A3) 1/10		塗床立上げ (5階) (A1) 1/5 (A3) 1/10		天井: 塩ビ製廻縁 (A1) 1/5 (A3) 1/10		PR: ピクチャーレール (A1) 1/2 (A3) 1/4			

建具符号	型 式	1 AL	アルミ樹脂複合製引き違い窓 既設建具：既設のまま	2 SD	鋼製片開き防火扉(大臣認定仕様) 既設建具：既設のまま	1 AL	アルミ製片開き扉						
箇 所 数	取付箇所	82	大型ホス・ス・フ・ンホ・研究室・i・ベ・ン・シ・フ・i・i・細胞培養室 廊下、物置	4	2～5階 階段室	4	緊急シャワー						
性能		防火性能	断熱性能	防音性能	耐震性能	防火性能	断熱性能	防音性能	耐震性能				
		(14+17+17+17+17)											
寸 法 図													
建具材質		AL				S				AL			
建具見込		70				40				100			
枠材質		AL				S				AL			
枠形状		→160×25(内)				H(W135)				→20×25(両側)			
建具仕上		B-2				SOP				B-2			
枠仕上		B-2				SOP				B-2			
支持金物等		GR、フッ素、付属金物一式				G				大枠			
ガラス種類		S16(透明)				AH、OH、付属金物一式				DH、HP、付属金物一式			
旋前種類		旋前機構				-				F16(型板)			
ガラリ形状		ガラリ寸法				-				t4			
ガラリ材質		ガラリ仕上				-				-			
備考		縦線：7&2製 可動幅：9'5&27&2(n'~)											
建具符号		S SD				鋼製片開きドア(告示仕様) 既設建具：既設のまま				B&A SD			
型 式		鋼製片開きドア(告示仕様)				鋼製片開きドア				鋼製片開き扉			
箇 所 数		5				5				5			
取付箇所		電気室・EPS(2～5F)				PS(1～5F)							
性能		防火性能	断熱性能	防音性能	耐震性能	防火性能	断熱性能	防音性能	耐震性能	防火性能	断熱性能	防音性能	耐震性能
		防火・高(電気室)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寸 法 図													
建具材質		S				S				S			
建具見込		40				40				40			
枠材質		D(W135)				D(W135)				D(W135)			
枠形状		A				A				A			
建具仕上		SOP				SOP				SOP			
枠仕上		SOP				SOP				SOP			
支持金物等		DC、DS、H、LH、付属金物一式				A				-			
ガラス種類		-				DC、DS、H、LH、付属金物一式				-			
旋前種類		旋前機構				H				-			
ガラリ形状		II型(電気室・FD付)				CK				CK			
ガラリ材質		SG				500×300				-			
備考		60P				-				-			

凡例	B-1	階数表示	数量	1 (既設再取付)	凡例	C-4	室名切り文字	数量	1 (新設)
		<p>W 150 50 S=1/8</p> <p>1 F</p> <p>2 F</p> <p>3 F</p> <p>2,000 S=1/40</p> <p>▽ F L</p>				<p>S=1/8 ▽ P S</p> <p>1,800 ▽ F L</p>			
		<p>仕様：アクリル切り文字 t=5 指定色塗装 ※W寸法は打合せによる</p>					<p>仕様：シート切り文字 ※設置位置は監督の指示による</p>		